



ADNURSE

株式会社アドナース

京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10
TEL:075-754-6174
http://adnurse.co.jp

従業員数:120名
設立:2010年5月
主な事業内容:訪問看護・訪問介護・訪問リハビリ・居宅介護支援事業・障害児通所支援事業・音楽療法事業・視線意思伝達装置販売事業・保育園事業



JOB INFORMATION

正社員募集

「おっちゃんとおばちゃん」の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。

2020年3月
大学卒業見込

第2新卒以上
歓迎

文理不問

専門学校
卒業生歓迎

訪問介護職員

【内容】ご利用者様のご自宅に伺い、食事・入浴のお手伝い・着替え・掃除等、普段の生活のサポートをします。また、外出をして買い物や映画を観に行くなど、一緒に余暇を楽しむ事もお仕事です。

【応募資格】初任者研修/実務者研修修了者、介護福祉士、無資格の方もOK!(資格取得支援制度あり)

【給与】常勤雇用の場合 a+b 211,500円~281,500円
【内訳】a:基本給180,000円~210,000円 b:職能手当:-40,000円、業務手当:10,000円、移動手当:21,000円
その他:精勤手当:10,000円、夜勤手当:5,000円/回、家族手当:配偶者5,000円・子供3,000円(3名まで)
※試用期間6か月あり。

【勤務地】アドナース洛西・アドナース西京・アドナース西院

【勤務時間】常勤:週40時間シフト制

【休日】シフト制(4週8休)

【休暇】年次有給休暇、パステイ休暇(誕生日の内、好きな日1日)、慶弔休暇、産前産後休暇、育児休暇、介護休暇

【その他待遇】昇給あり(業績による)、賞与年2回(6月・12月)、通勤手当(実費支給、月額2万円迄)、社会保険完備

【連絡先】まずは一度電話でお問い合わせください。

TEL:075-754-6174 (担当:東)

言われたことを
言われたようにやる。
それが言われる。

僕は、大学卒業後、看護師の資格をとって病院に勤務しました。そこで闘病中の人に少しでも楽しいことを提供したいと思ったけれど、病院では限界があった。その後、訪問介護の仕事で人と触れ合うおもしろさを知り、地域の人たちが「生活があってこそ医療」という理念で支えたいと思い、40歳で訪問介護事業を始めました。

介護される人が「楽しく過ごせる」ことが大事。障がいをお持ちの若い女性のおしゃれ、グルメ、恋愛などをテーマにしたフリーペーパーを発行したり、「車いすおもてなし隊」で茶道のお稽古もすれば、FMラジオ「行列のできる訪問看護ステーション」で発信したり。人の笑顔が見たいと思ったことをやっていたら、自然に事業が大きくなりました。そして、介護する側の楽しさにもつながっていきます。

介護には、出しゃばらずに、そこについて見守ればいいという介護もあります。言われたことを言われたようにやるのが、喜ばれるんです。「モノを売る営業は苦手」や「自分は気が利かない」と思う人の特性が利点にもなるので、そんな人もぜひ興味をもってほしいですね。

鎌田智広さん

株式会社アドナース

代表取締役 訪問看護認定看護師

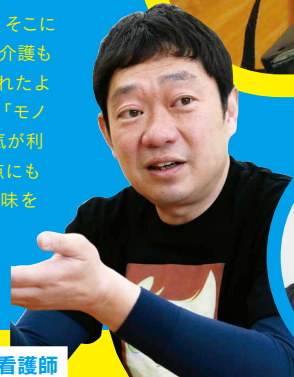
22歳で所長になる人もいる。「『いいね』に利用者さんと向き合えるのが、自分には向いている」と、うちに転職してくる人もいます。普通のことを普通にしていれば、一流になれるチャンスが多いです。

個人の生活と仕事の両立にもアドナースは向く。男性で育児休暇をとる人もいるし、労働時間や日数、雇用方法、部署の変更など、ライフステージに応じた働き方ができる。結婚、出産、家族の病気などがあっても長く働き続けることができるのは大きな魅力だ。

介護の仕事は、特に自分を飾らなくても、現場に行つて要望に応じれば、素のままですべて利用者喜んでもらえるのが特徴だ。それが笑顔とありがとうの言葉となり、素直に仕事への感謝を感じられる。それは、「楽しい」という実感につながるのだ。さあ、あなたも、働く選択肢に「アドナース」を加えてみたらどうだろう。



音楽で子供と向き合う



必要とされる仕事をしよう!

楽しく働きたい

個人の生活仕事を両立させたい

安定した会社がいい

そんな人は「アドナース」という選択肢を加えたらどうだろうか?

福祉業界を牽引するアドナース。障がい女子のファッション雑誌を刊行したり、ラジオカフェで発信したり。笑顔があふれ、安心できる地域を目指す、今、いちばん元気印の福祉介護ステーション。

京都市西京区にある株式会社アドナースは福祉介護ステーション。訪問介護、訪問看護、居宅介護支援、児童支援を柱に、子どもからお年寄りまで地域の介護の仕事を引き受ける。看護師でもある鎌田智広社長が「笑顔が見たい」「おもしろいことをしたい」の理念で2010年に設立、発展させた。なぜ、この会社が「安定を望む人」「個人の生活と仕事を両立させたい人」「楽しく働きたい人」に向くのだろうか?

社屋を訪問してみた。ギターが並び、ホールにはグランドピアノや打楽器。まるで音楽スタジオのようだ。2歳半の茜絵ちゃんの音楽活動では、音楽療法士、介護福祉士、看護師の3人が、車椅子の茜絵ちゃんに働きかけ、歌遊びを繰り返す。音楽のあとは介護福祉士が車椅子から降りてマツサージ。看護師が常に見守り、医療器具を注意深く扱う。この手厚いケアは重症心身障害児対象のデイサービスで、利用者は保険が使え、自宅への送迎もある。高齢化社会が進む日本で、要介護の人や障がいを持つ人がいる限り、介護者は不可欠な存在だ。そのため国の支援は手厚く、経営の安定に直結する。「利用者さんは保険を使うから、資金回収がしやすい。ゆえに安定しています。」これは福祉介護業界の特徴です。他の業種の方にもすこくうらやましながら「letsね」と経営者の鎌田さんは話す。介護福祉士、ケアマネジャーと資格をとってキャリアアップと収入増も。